



喜界中だより

校訓 志 創 錬
12月号

(住所) 〒891-6202 喜界町湾1775番地 TEL 65-0026 FAX 65-0058

人権週間の取組から

校長 藤原 隆哉

2024年がまもなく終わろうとしています。この一年間、喜界中学校では、授業や学校行事、部活動等で、かけがえのない大きな「感動」を得ると共に、一人ひとりが大きな「成長」を遂げてくれました。各学年で実施された学期末の振り返りアンケートにも、そのことを自覚しているコメントが数多く書かれていました。

そのような中、2学期最後の全校集会が12月10日にありました。当日は、人権週間の最終日ということもあり、SNSの利用について生徒の皆さんと共に考えることにしました。テーマは、「アスリートに対する誹謗中傷について」です。

記憶に新しい今年のパリオリンピック・男子体操団体競技では、最終種目を残して、日本はライバル中国に逆転は不可能と思われるほどの点差がありました。ところが中国選手に鉄棒で2度の落下があり、全員が安定した演技をみせた日本が逆転し、金メダルを獲得したというものでした。最後まで諦めず、粘り強く戦った日本選手が讃えられる一方で、落下した選手には、SNSで厳しい批判が繰り返されたというものです。

しかし、これは他山の石ではなく、日本でも同様のことが発生しています。特に野球、サッカー、バレー、バスケット等のプロの世界では、勝敗にからむミス犯した選手に対して、非難が殺到するということが度々発生しているそうです。「プロだから結果を問われるのは当然」と考える人達が多いようです。

私たちは、この一年間で、日本を代表する下記のアスリートの皆さんが来校し、講演を実施してくださいました。

2月 迫田 さおりさん(女子バレーボール元全日本代表)

8月 市田 孝選手(旭化成陸上部)

市田 美咲さん(元エディオン女子陸上駅伝)

11月 畠田 千愛選手(体操女子日本代表・セントラルスポーツ)

12月 鶴田 玲美選手(陸上女子日本代表・南九州ファミリーマート)

講演会では、いずれの選手からでも、「練習方法」だけでなく、「生き方」「考え方」「人格」などを学ぶ機会がありました。畠田選手は、「幼い頃から毎日7～8時間の練習を積み重ね、休みは月2回程度しかありませんでした。」という話がありました。おそらく日本を代表する選手には、同様の人生をかけた努力があったことを知った私たちは、選手に対する思いやりは忘れないでいて欲しいと思います。

さて、集会ではこの他にも、右のようなハラスメントについても紹介しました。SNSの普及が他人を安易に非難する風潮を生んだとも言われています。私たち自身が加害者や被害者にならないために、次の2点を確認しました。

- 自分の言葉で、相手がどんな感情になるか「**相手を思いやる**」
- 嫌なことを要求されたら「**相手の要求を断る**」(周囲に相談する)

最後に、保護者や地域の皆様におかれましては、本年も大変お世話になり、有難うございました。年末ご多忙のこととは存じますが、良き年をお迎えください。来年も素晴らしい年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



努力は
人を裏切る

でも努力しないと
結果は出ない



畠田千愛選手



厚生労働省～明るい
職場応援団HPより



家庭科調理実習

本校の家庭科では、1年生：白身魚のホイル焼き、おひたし 3年生：郷土料理春雨シームン、ふくれ菓子の調理実習を今月実施しました。

今回は、調理経験の少ない生徒を、食生活改善グループの皆さんにサポートを依頼したところ、快く引き受けていただき、毎回4～6名の皆さんが協力してくださいました。担当の松山教諭によると、春雨シームンのスープ作りの際は、早めに準備していただいたお陰で、鶏ガラからのあく抜き作業や椎茸の味付けも別に行うなど、これまでの実習ではできない体験をさせることができましたとのことでした。また、生徒からも一見すると、単純そうに見えていた献立も、手間ひまをかけて行うことで、美味しい料理ができあがることを知りましたとの感想が多数ありました。

今年は、年度当初からボランティアの募集をさせていただきましたが、今回の実習でもあらためて、地域の皆様の力をお借りすることで、生徒に多大な学びがあることを確認することができました。ご協力いただきました皆様に深く感謝申し上げますと共に、今後共ご協力を賜りますようお願い致します。



校内ロードレース大会 ～鶴田選手からの「あきらめない心」伝わる～

12月14日は1校時に陸上競技短距離走選手、鶴田玲美さんの講演を行いました。演題は「目標をあきらめない心」でした。中高時代は記録が伸びず、何度も壁にぶつかっていたようです。「100mを11秒台で走る」という目標を叶えるために社会人になってからも努力を継続し、さらに鹿児島県国体での入賞を目標に掲げられました。鶴田選手の座右の銘は漢詩「耐雪梅花麗～雪に耐えて梅花麗しく～」です。「継続すること」「目標に向かってあきらめないこと」「目の前のことに全力で挑み続けること」を生徒に伝えられました。2020年日本選手権100m走優勝、200m走大会新記録で優勝、東京オリンピック400mリレー予選にアンカーとして出場と、その後結果を残されています。自己ベストは100m11秒44、200m23秒17です。

講演後、校内ロードレース大会が行われました。鶴田選手には出発のピストルも打っていただきました。時折、雨の降る中でのレースでしたが、生徒一人ひとり、あきらめない心が伝わる力走を見せてくれました。

鶴田選手の次の目標は来年9月に行われる東京開催の世界陸上出場とのことです。みんなで応援しましょう。



受賞報告

○校内ロードレース大会

男子1位 1年 大喜 皇成 2年 向井 恵賀 3年 柳 裕也

女子1位 1年 梅田 ゆあ 2年 川村 結愛 3年 濱川 輝心

○第75回鹿児島県図画作品展 **入選** 三島 好誠 (3)

○令和6年度「家庭の日」作品展 **努力賞** 園田 悠 (2)

○令和6年度薬物乱用防止絵画コンクール **KYT鹿児島テレビ局長賞** 三島 好誠 (3)

特選 脇田 茉里 (3) 若松 佳奏 (2) 堂免 華穂 (2) **入選** 夏目 一郎 (2) 坂元 優月 (3) 榮 優心 (2)

○第21回鹿児島県長距離走記録会 中学男子3000m **4位** 柳 裕也 (3)

○令和6年度奄美市新人大会ソフトテニス競技

A級2位 生田 蒼空 (2) 巖 泰優 (2) 前底 昊羽 (2) 實 織久 (1) 吉川 大貴 (1) 乾 晴一 (1)

B級3位 中村 羽玖 (1) 太利 康介 (1) 輝 一慶 (1) 野間 碧海 (1) 穂満 悠斗 (1) 渉 良作 (1)

○第43回全国中学生人権作文コンテスト奄美群島地区大会 **奨励賞** 勇 里桜花 (1)

○第14回田中一村記念スケッチコンクール

入選 乾 晴一 (1) 幸得 未苺 (1) 勇 里桜花 (1) 穂満 悠斗 (1) 遊佐 翔 (1)

1月の行事

1月 6日(月) 仕事始め
7日(火) 3年統一模試(本校)
8日(水) 始業式、朝読書週間
11日(土) 土曜授業(1, 2年スキルアップ講座)
14日(火) SC来校
18日(土) やる気塾(閉講式)
19日(日) 家庭の日、ふるさと美化活動
20日(月) 1年鹿児島学力・学習状況調査～21
3年県立博物館出前授業③④
3年租税教室⑥

22日(水) 2年鹿児島学力・学習状況調査～23
24日(金) 中学校入学説明会、SC来校
第3回英語検定16:35～
27日(月) 1,2年生教育相談～2/5
28日(火) 町学校保健研究大会(午後)
30日(木) 第4回PTA代議員会・専門部会
18:30～